



学園便り

1学期 2022



保護者各位

皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

新年度が始まりまして、早くも一ヶ月半が過ぎようとしています。季節も確実に夏から秋に移行し、外の景色も緑から秋色へと変わりつつあります。

この九月からは学園を再開し、二年半に及ぶオンライン授業を終了しました。始業日には、画面越しでしか見ることのできなかった子供たちの成長に目を見張り、「大きくなったなあ。」「また学園に戻って来てくれたんだな。」等、いろいろな思いが交差し、感慨深い気持ちになりました。私は毎週クラスの様子を見に教室に入りますが、ドアをノックし、ドアを開けた瞬間、どのクラスでも、静かに先生の話に耳を傾ける子供たちの姿が飛び込んで来ます。休み時間に会う笑顔や笑い声とは正反対の真剣な表情に、こちらも身が引き締まる思いがします。無事に学園が再開できましたことを本当に喜ばしく思っています。

新しい教職員の紹介をします。入門クラスにブーン・スージー先生と梶原さやか先生を、5年生クラスに森口真帆先生を、8～11年生クラスに宮永國子先生を迎えました。ブーン先生は、長い間ESL教師として日本人の子供たちに英語を教えて来られた、語学教育のベテランです。梶原先生は幼児教育を専攻され、それを生かした子供たちへの日本語教育を目指しておられます。森口先生は、ご自身の二人のお子さんを当日本語学園に何年も通わせ、立派なバイリンガルに育てたご経験をお持ちです。皆様の先輩に当たりますね。宮永先生は、日本で大学生に文化人類学(専門エリアは日本社会、日本文化)を日英両語で教えていらっしゃいました。日本、日本語、そして日本文化の専門家でいらっしゃいます。

それでは、今年度も、安全と健康を第一に、生徒、保護者の皆様、教職員、そして学園理事会が力を合わせて、実りある有意義な一年になるよう願います。

ガーデナ仏教会附属日本語学園

学園長 上原 治美

harumi.uehara@gbcjls.org